

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年1月13日
【四半期会計期間】	第23期第2四半期（自平成23年9月1日至平成23年11月30日）
【会社名】	シンワアートオークション株式会社
【英訳名】	SHINWA ART AUCTION CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 倉田 陽一郎 東京都中央区銀座七丁目4番12号
【本店の所在の場所】	（同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」 で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区有明三丁目7番26号
【電話番号】	03(3520)0066(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 益戸 佳治
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第22期 第2四半期 累計期間	第23期 第2四半期 累計期間	第22期
会計期間	自平成22年 6月1日 至平成22年 11月30日	自平成23年 6月1日 至平成23年 11月30日	自平成22年 6月1日 至平成23年 5月31日
売上高(千円)	554,350	1,008,311	1,213,080
経常利益(千円)	54,835	125,342	85,057
四半期(当期)純利益(千円)	47,066	125,162	131,208
持分法を適用した場合の投資利益 又は投資損失( ) (千円)	9,384	4,110	12,888
資本金(千円)	780,221	785,155	781,317
発行済株式総数(株)	57,979	58,429	58,079
純資産額(千円)	1,245,103	1,442,119	1,332,785
総資産額(千円)	2,094,174	1,746,817	1,895,693
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	857.64	2,274.68	2,389.34
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	2,211.97	2,350.48
1株当たり配当額(円)	-	-	450
自己資本比率(%)	59.4	82.4	70.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	449,265	948,084	406,446
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	46,157	130,789	88,439
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	119,150	456,363	84,000
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	825,548	571,172	213,872

回次	第22期 第2四半期 会計期間	第23期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成22年 9月1日 至平成22年 11月30日	自平成23年 9月1日 至平成23年 11月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1,244.85	625.28

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 第22期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの希薄化効果がないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクにおいて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災後のサプライチェーン毀損による供給制約から復旧しつつあり、一部に持ち直しの動きが見られたものの、欧州の債務危機や米国の景気低迷に端を発する世界経済に対する先行き不安要素があまりにも強く、歴史的長期円高や株価低迷など、国内においても再び景気の減速が懸念される状況にあります。

このような環境の下、当社は引き続き徹底したコスト管理のもと高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めてまいりました。

当期間は、前年同期と変わらず14回のオークションを開催しましたが、主力の近代美術オークション、近代陶芸オークションで取扱高が減少しております。しかしながら、当社は前事業年度後半から引き続き、東日本大震災の影響によるオークション出品点数の減少を想定し、当期間においても在庫商品のオークション出品及びプライベートセールでの販売に注力してまいりました。その結果、売上高、商品売上高が大きく増加いたしました。併せて利益面におきましても当初予想を大きく上回ることができました。

当第2四半期累計期間は、取扱高2,146,920千円（前年同期比15.5%減）、売上高1,008,311千円（前年同期比81.9%増、内商品売上高705,064千円（前年同期比509.7%増））、利益面におきましては、経常利益125,342千円（前年同期比128.6%増）、四半期純利益125,162千円（前年同期比165.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

近代美術オークション部門の取扱高は、847,280千円（前年同期比46.9%減）、売上高は、192,501千円（前年同期比36.2%減、内商品売上高38,628千円（前年同期比120.0%増））となりました。出品点数、落札単価ともに前年同期間に比べて減少し、取扱高、売上高が減少しました。

近代陶芸オークション部門の取扱高は、93,870千円（前年同期比28.3%減）、売上高は、24,419千円（前年同期比27.9%減、内商品売上高3,114千円（前年同期比29.1%減））となりました。出品点数、落札単価ともに前年同期間に比べて減少し、取扱高、売上高が減少しました。

近代美術Part オークション部門の取扱高は、148,350千円（前年同期比0.1%減）、売上高は36,182千円（前年同期比6.0%減、内商品売上高688千円（前年同期比77.9%減））となりました。出品点数の減少はあったものの落札単価微増となり、前年同期と横ばいの実績となりました。

その他オークション部門の取扱高は、352,080千円（前年同期比0.8%減）、売上高は、124,044千円（前年同期比77.3%増、内商品売上高54,242千円（前年同期は447千円））となりました。前年同期と比較して取扱高はほぼ横ばいでしたが、主に西洋美術オークションにおける在庫商品の売上高の増加（52,995千円、前年同期は257千円）が利益に大きく貢献いたしました。

プライベートセールにおきましては、取扱高は、478,288千円（前年同期比456.2%増）、売上高は、451,410千円（前年同期比448.9%増、内商品売上高450,750千円（前年同期比450.4%増））と、取扱高、売上高ともに前年同期間に比べて大幅な増加となりました。

## ( 2 ) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前事業年度末より357,299千円増加し、571,172千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

### ( 営業活動によるキャッシュ・フロー )

営業活動の結果得られた資金は948,084千円(前年同期間比111.0%増)となりました。これは主に税引前四半期純利益125,842千円とたな卸資産の減少額436,806千円、前渡金の減少額198,791千円及びオークション未払金の増加額165,162千円などによる資金増加、オークション未収入金の増加87,888千円による資金減少によるものであります。

### ( 投資活動によるキャッシュ・フロー )

投資活動の結果使用した資金は130,789千円(前年同期間は46,157千円の獲得)となりました。これは主に定期預金の預入による支出275,000千円に対し、定期預金の払戻による収入145,000千円によるものであります。

### ( 財務活動によるキャッシュ・フロー )

財務活動の結果使用した資金は456,363千円(前年同期間比283.0%増)となりました。これは主に短期借入金の純減少額440,000千円による支出と配当金の支払額23,888千円によるものであります。

## ( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

## ( 4 ) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	180,000
計	180,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年11月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成24年1月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	58,429	58,429	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお単元株制度は採用しておりません。
計	58,429	58,429		

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成24年1月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年9月1日～ 平成23年11月30日 (注)	350	58,429	3,837	785,155	3,837	389,905

(注)新株予約権の行使による増加であります。

## (6)【大株主の状況】

平成23年11月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社シンワアートホールディングス	東京都中央区銀座7-4-12	10,800	18.48
梶月 啓左	京都府京都市北区	3,645	6.24
水谷 大	東京都港区	2,898	4.96
株式会社泰明画廊	東京都中央区銀座7-3-5	2,340	4.00
山村 昌康	東京都品川区	2,178	3.73
株式会社ヤング開発流通	兵庫県高砂市米田町島2	1,320	2.26
倉田 陽一郎	東京都世田谷区	1,268	2.17
佐竹 昌一郎	東京都渋谷区	1,246	2.13
李 順瑛	東京都品川区	1,245	2.13
梅田 裕貴	大阪府大阪市北区	1,146	1.96
計	-	28,086	48.07

(注) 上記のほか、自己株式が3,098株あります。

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成23年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,098	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 55,331	55,331	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	58,429	-	-
総株主の議決権	-	55,331	-

## 【自己株式等】

平成23年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
シンワアートオーク ション株式会社	東京都中央区銀座 7 - 4 - 12	3,098	-	3,098	5.30
計	-	3,098	-	3,098	5.30

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成23年9月1日から平成23年11月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成23年6月1日から平成23年11月30日まで）に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	458,872	946,172
売掛金	51,752	55,833
オークション未収入金	15,120	103,008
商品	687,348	250,542
前渡金	472,869	274,077
その他	148,739	61,643
貸倒引当金	108	245
流動資産合計	1,834,596	1,691,033
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	15,232	10,873
車両運搬具(純額)	1,139	728
工具、器具及び備品(純額)	2,648	2,176
有形固定資産合計	19,020	13,779
投資その他の資産		
その他	73,284	73,132
貸倒引当金	31,207	31,127
投資その他の資産合計	42,076	42,004
固定資産合計	61,097	55,784
資産合計	1,895,693	1,746,817
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	559	2,149
オークション未払金	3,174	168,337
短期借入金	440,000	-
未払法人税等	3,939	3,070
賞与引当金	17,179	16,501
役員賞与引当金	18,292	15,096
その他	54,613	72,994
流動負債合計	537,758	278,147
固定負債		
退職給付引当金	25,150	26,550
固定負債合計	25,150	26,550
負債合計	562,908	304,697

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,317	785,155
資本剰余金	386,067	389,905
利益剰余金	250,909	351,329
自己株式	87,856	87,856
株主資本合計	1,330,438	1,438,533
新株予約権	2,346	3,586
純資産合計	1,332,785	1,442,119
負債純資産合計	1,895,693	1,746,817

( 2 ) 【四半期損益計算書】  
【第 2 四半期累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成22年 6 月 1 日 至 平成22年11月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 6 月 1 日 至 平成23年11月30日)
売上高	554,350	1,008,311
売上原価	206,522	541,330
売上総利益	347,828	466,980
販売費及び一般管理費	290,445	338,781
営業利益	57,383	128,198
営業外収益		
受取利息	256	112
受取保険金	695	1,474
受取査定報酬	109	-
受取保管料	1,011	-
その他	307	264
営業外収益合計	2,381	1,852
営業外費用		
支払利息	1,426	901
為替差損	3,274	3,711
その他	227	95
営業外費用合計	4,928	4,708
経常利益	54,835	125,342
特別利益		
貸倒引当金戻入額	245	-
新株予約権戻入益	722	-
未払配当金戻入益	561	500
特別利益合計	1,528	500
特別損失		
固定資産売却損	510	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,225	-
特別損失合計	8,735	-
税引前四半期純利益	47,628	125,842
法人税、住民税及び事業税	562	680
法人税等合計	562	680
四半期純利益	47,066	125,162

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	47,628	125,842
減価償却費	6,672	5,240
貸倒引当金の増減額(は減少)	245	56
賞与引当金の増減額(は減少)	6,468	678
役員賞与引当金の増減額(は減少)	-	3,196
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,050	1,400
受取利息及び受取配当金	256	112
支払利息	1,426	901
為替差損益(は益)	2,417	3,631
有形固定資産売却損益(は益)	510	-
売上債権の増減額(は増加)	5,850	4,080
オークション未収入金の増減額(は増加)	153,689	87,888
たな卸資産の増減額(は増加)	55,217	436,806
前渡金の増減額(は増加)	245,699	198,791
仕入債務の増減額(は減少)	5,100	1,590
オークション未払金の増減額(は減少)	293,137	165,162
未払又は未収消費税等の増減額	11,612	33,000
その他	46,718	73,024
小計	451,083	949,493
利息及び配当金の受取額	396	215
利息の支払額	1,582	265
法人税等の支払額	632	1,360
営業活動によるキャッシュ・フロー	449,265	948,084
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	1,902	-
定期預金の預入による支出	175,000	275,000
定期預金の払戻による収入	220,000	145,000
差入保証金の差入による支出	339	1,129
差入保証金の回収による収入	3,398	339
その他	1	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	46,157	130,789
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	121,000	440,000
株式の発行による収入	2,150	7,525
配当金の支払額	300	23,888
財務活動によるキャッシュ・フロー	119,150	456,363
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,254	3,631
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	374,018	357,299
現金及び現金同等物の期首残高	451,530	213,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	825,548	571,172

## 【追加情報】

当第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

## 【注記事項】

## (四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)														
1. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">給与及び手当</td> <td style="text-align: right;">70,485千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">20,167千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">1,150千円</td> </tr> </table>	給与及び手当	70,485千円	賞与引当金繰入額	20,167千円	退職給付費用	1,150千円	1. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">給与及び手当</td> <td style="text-align: right;">70,902千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">16,501千円</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">15,096千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">1,700千円</td> </tr> </table>	給与及び手当	70,902千円	賞与引当金繰入額	16,501千円	役員賞与引当金繰入額	15,096千円	退職給付費用	1,700千円
給与及び手当	70,485千円														
賞与引当金繰入額	20,167千円														
退職給付費用	1,150千円														
給与及び手当	70,902千円														
賞与引当金繰入額	16,501千円														
役員賞与引当金繰入額	15,096千円														
退職給付費用	1,700千円														
2. 季節的変動要因 当社の事業構造として、オークションが第2四半期及び第4四半期に多く開催される傾向があるため、四半期会計期間別の業績には季節的変動があります。	2. 季節的変動要因 同左														

## (四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)												
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年11月30日現在) (千円)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年11月30日現在) (千円)												
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">1,100,548</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">275,000</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">825,548</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	1,100,548	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	275,000	現金及び現金同等物	825,548	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">946,172</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">375,000</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">571,172</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	946,172	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	375,000	現金及び現金同等物	571,172
現金及び預金勘定	1,100,548												
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	275,000												
現金及び現金同等物	825,548												
現金及び預金勘定	946,172												
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	375,000												
現金及び現金同等物	571,172												

## (株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成22年6月1日至平成22年11月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月30日 定時株主総会	普通株式	24,741	450	平成23年5月31日	平成23年8月31日	利益剰余金

## (持分法損益等)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年11月30日)
関連会社に対する投資の金額(千円)	3,390	3,390
持分法を適用した場合の投資の金額(千円)	3,390	5,888

	前第2四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
持分法を適用した場合の投資利益又は投資損失( )の 金額(千円)	9,384	4,110

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自平成22年6月1日至平成22年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	近代美術 オークション	近代陶芸 オークション	近代美術Part オークション	その他 オークション (注)1	プライベート セール	計		
売上高	301,749	33,890	38,485	69,949	82,243	526,318	28,031	554,350
セグメント 利益	253,044	20,064	23,950	47,815	1,374	346,250	1,578	347,828

(注)1. 「その他オークション」の区分には、Bags/Jewellery&Watchesオークション、西洋美術オークション、ワインオークション、浮世絵オークション、長谷川利行コレクションの結果を記載しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、交換会等での販売及び貸会場事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	346,250
「その他」の区分の利益	1,578
全社費用(注)	290,445
四半期損益計算書の営業利益	57,383

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



当第2四半期累計期間（自平成23年6月1日至平成23年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	近代美術 オークション	近代陶芸 オークション	近代美術Part オークション	その他 オークション (注)1	プライベート セール	計		
売上高	192,501	24,419	36,182	124,044	451,410	828,559	179,751	1,008,311
セグメント 利益	143,428	13,238	25,722	86,013	135,143	403,547	63,432	466,980

(注) 1. 「その他オークション」の区分には、Bags/Jewelry&Watchesオークション、西洋美術オークション、ワインオークション、浮世絵オークション、長谷川利行コレクションの結果を記載しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、交換会等での販売及び貸会場事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	403,547
「その他」の区分の利益	63,432
全社費用(注)	338,781
四半期損益計算書の営業利益	128,198

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額 (算定上の基礎)	857円64銭	2,274円68銭
四半期純利益金額(千円)	47,066	125,162
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	47,066	125,162
普通株式の期中平均株式数(株)	54,879	55,024
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 (算定上の基礎)	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの希薄化効果がないため記載しておりません。	2,211円97銭
四半期純利益調整額(千円)		-
普通株式増加数(株)		1,561
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要		

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 1月13日

シンワアートオークション株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 滝口 隆弘 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 石田 勝也 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているシンワアートオークション株式会社の平成23年6月1日から平成24年5月31日までの第23期事業年度の第2四半期会計期間（平成23年9月1日から平成23年11月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成23年6月1日から平成23年11月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、シンワアートオークション株式会社の平成23年11月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。